

付録1: 「ユースJ」 ルール 2024 年度版

※年齢はすべて大会年12月31日時点

2024.2.1

		ユースJ	
競技部門 / 年齢	男女混合シングル / 7~10 才	競技エリア	7m x 7m
演技時間 / 使用曲	約1分 / 指定曲のみ(JAF ウェブサイトからダウンロードして使用。BPM の調節は可)		
服装規定	動作がわかりやすい身体にフィットしたスポーツウエアとエアロビック・シューズまたはフィットネ・スシューズを着用。競技レオタードでなくても可だが、他のスポーツを想起させるような特殊な		
演技構成 (規定演技)	ユースJ 期選手の強化の観点から検討した、倒立を含むあらかじめ設定した課題動作を演技に組み込んだ規定演技。最初と最後のポーズと指定された箇所の AMP シークエンスや指や指定された箇所の移行動作は自由に創作できるが、移動は決められた軌道で行うことが望ましい。 選択エレメントは 3 つの難度エレメントグループからそれぞれ選手の技術レベルに応じて選択することができる。 課題動作および選択エレメントは最低条件を満たした場合のみ評価を得るが、課題動作を実施できなくても減点はしない。また、課題/選択エレメント以外のエレメントを実施した場合は評価されない。		
規定演技構成	※JAF ウェブサイトを参照		
課題動作 ()は難度	- A グループ: 3 個…プッシュ・アップ(0.1)、ウェンソン・プッシュ・アップ(0.2)、ストラドルサポート(0.2) - B グループ: 1 個…1/1 エアー・ターン(0.3) - C グループ: 1 個…パーティカル・スプリット(0.1)		
選択エレメント ()は難度	- A グループ: 2 個…L サポート(0.2)、V サポート(0.5) - B グループ: 4 個…タック・ジャンプ(0.2)、コサック・ジャンプ(0.3) - C グループ: 2 個…1/1 ターン(0.2)、2/1 ターン(0.4)		
倒立実施基準	倒立動作として認識できた場合は1.0 加点するが、以下の場合は実施審判員が本編に準じて減点する。 ・ 2 秒間程度の保持はあるが、完璧な実施度から少し逸脱…-0.1 点 ・ 2 秒間程度の保持はあるが、完璧な実施度から大きく逸脱、複数の欠点…-0.3 点 ・ ある程度コントロールされているが、明確に2 秒間程度の保持されていない。間違った技術で実施しており倒立として認識できない…-0.5 点 ・ 完全にコントロールを失ってフロアに落下、または着地…-1.0 点 (加点なし)		
審判構成	最小審判員数: 3 名 (主任1 名、実施2 名以上) 主任は原則A 級以上、実施はB 級以上		
審査	-主任審判員: 倒立の実施を認めた場合の加点、課題動作/選択エレメントを評価し2.0 で割った値をだす。 -実施審判員: 全ての動作について審査し、必要に応じて減点する。		
主任減点	-服装違反: -0.2 点		